令和６年度社会福祉法人本庄市社会福祉協議会　事業報告

人口減少や少子高齢化の進行に伴い、地域住民の生活課題が複雑化・多様化するなか、近年では、自然災害や感染症への対応力の強化等が、地域における重要な課題となっています。

令和６年度、当協議会では、「ふくしの杜ほんじょうプラン２１」の基本理念に則り、市民やボランティア、自治会、民生委員・児童委員等のほか、地域の多様な団体・機関・企業との連携・協働により、地域共生社会の実現に向けた取組を推進いたしました。

令和６年度は新たな取り組みとして、未来を担うこどもたちの健やかな成長を地域で支えるため、令和２年度に募集を開始した新型コロナウイルス対策応援寄附金を「ほんじょうこども未来応援金」に名称変更して、寄附金募集を行い、寄せられた寄附金を活用した小・中学生への学用品提供のほか、各種フードパントリー事業の拡充等に取り組みました。

今後も引き続き、市民一人ひとりが安心して暮らせるまちづくりを目指し、地域共生社会の実現に向けて各種事業に取り組んでまいります。

主な事業実績（※前年比は、小数第２位を四捨五入）

■会務の運営

１．理事会、監査、評議員会

・理事会、監査、評議員会を開催し、職務の執行、監査及び各事項に関する審議等を行った。

内容	回数	開催日	主な審議事項
理事会	５回	６月６日	定時評議員会招集、事業報告、決算ほか
		６月２６日	常務理事選定、評議員選任候補者推薦ほか
		１０月２４日	評議員会招集、補正予算ほか
		１月１５日	規程改正、評議員会招集、補正予算ほか
		３月７日	規程改正、事業計画、当初予算ほか
監査	１回	５月３０日	事業報告、計算関係書類に関する監査
評議員会（定時評議員会を含む）	４回	６月２４日	理事選任、事業報告、決算ほか
		１１月１日	補正予算
		１月２０日	補正予算
		３月１４日	事業計画、当初予算

２．評議員選任・解任委員会

・評議員選任・解任委員会を開催し、評議員の選任について審議した。

内容	回数	開催日	主な審議事項
評議員選任・解任委員会	２回	６月１７日	評議員の選任
		７月９日	評議員の選任

3．各種委員会

・その他の各種委員会を開催し、それぞれ運営に必要な事項について審議を行った。

内容	回数	開催日	主な審議事項
ボランティアセンター運営委員会	2回	7月22日	事業報告、事業計画
		2月27日	事業計画、夏のボランティア体験プログラム事業報告
地域福祉推進委員会（市審議会と合同開催）	1回	11月11日	地域福祉審議会及び地域福祉推進委員会の運営方法（案）、令和5年度取組状況及び令和6年度取組方針について
法人成年後見事業運営委員会	2回	6月7日	新規受任、既受任者経過報告及び継続受任
		2月18日	法人後見支援員設置、既受任者経過報告
成年後見サポートセンター運営委員会	3回	6月7日	事業実績報告、講演会実施
		10月7日	研修会実施、講演会報告
		2月18日	事業計画、研修会報告

.

■財政基盤と組織体制の強化

1．会員加入の促進と会費収入の強化

・『社協会員募集運動』を実施し、自治会連合会、民生委員・児童委員協議会、法人等にご協力いただき次の実績を得ることができた。

内容	令和6年度	前年度	前年比（%）
件　数	6，230件	6，224件	100．1
金　額	5，370，277円	5，339，953円	100．6
＜内　訳＞	・普通(個人等)　4，949件／1，484，700円		
	・特別(個人等)　1，014件／2，687，677円		
	・法人(会社等)　267件／1，197，900円		

2．寄附金募集による自主財源の確保

（1）一般寄附

・地域福祉の推進を目的として、広く市民や企業・団体等の皆さまに一般寄附を募集した。

内容	令和6年度	前年度	前年比（%）
件　数	54件	68件	79．4
金　額	1，793，651円	1，722，976円	104．1

（2）ほんじょうこども未来応援金

・本庄市のこどもの健全な成長を支えるため、「ほんじょうこども未来応援金」を募集した。

内容	令和6年度	前年度（コロナ応援金）	前年比（%）
件　数	47件	27件	174．1
金　額	9，029，729円	3，090，156円	292．2

3．入れ歯リサイクル回収事業による自主財源の確保

内容	令和６年度	前年度	前年比（%）
金　額	１４，７４０円	２７，５７１円	５３．５

4．自動販売機設置事業

内容	令和６年度	前年度	前年比（%）
台　数	２台（６月以降１台）	２台	５８．３
金　額	２４，６６０円	３８，０９６円	６４．７

5．広報活動の実施

・活動報告や制度の周知等を図るため、広報紙の発行などを行った。

〇「社協だよりハート&ハート」の発行（年４回・市内全戸配布）

〇ホームページの充実及び Facebook・X（旧 Twitter）での情報提供

〇ふくしＰＲコーナーの設置

市内医療機関、飲食店、スーパー等にＰＲコーナーの設置を依頼。情報紙・福祉イベントチラシ等の掲示にご協力いただいた。

内容	令和６年度	前年度	前年比（%）
設置数	４８か所	４２か所	１１４．３

6．各種職員研修の実施及び外部研修等への参加

・各種職員研修を実施し、また、埼玉県社会福祉協議会等が主催する研修会に参加した。

■高齢者福祉事業

1．高齢者世帯等安否確認事業・友愛通信事業

・日常的に見守りを必要とする７０歳以上の高齢者世帯（単身・二人世帯含む）及び７５歳以上の日中独居高齢者世帯を対象に民生委員・児童委員が毎月お便りや生活物品等を配付し、安否確認と孤立防止に取り組んだ。また、日常的に見守りを必要とする７０歳以上の単身世帯を対象に、年２回（暑中見舞いと誕生日）ボランティアが絵手紙を送り、郵便による友愛訪問を行った。

内容	令和６年度	前年度	前年比（%）
高齢者世帯等安否確認事業	９８８世帯	９３８世帯	１０５．３
友愛通信	６６８世帯	７１６世帯	９３．３

2．活動者導入促進事業（地域見守り活動の推進）

・自治会連合会と協働し、地域の見守り役として「活動者」の配置を促進した。

内容	令和６年度	前年度	前年比（%）
自治会数	１４自治会	１６自治会	８７．５
活動者	２５２人	２９６人	８５．１

3．ふれあいいきいきサロン支援事業

・自治会や身近な地域を拠点として、高齢者、障害のある方、ひきこもりがちな若者等、地域住民や同じ悩み・不安を抱えた者同士がボランティア等と協働して取り組む、住民

主体の交流活動「ふれあいいきいきサロン」を支援した。

内容	令和６年度	前年度	前年比（%）
サロン数	７９か所	７２か所	１０９．７
参加者数 （うちボランティア数）	２，００４人 （４７８人）	１，９４６人 （４５８人）	１０３．０ （１０４．４）

４．在宅福祉有償家事援助事業（ほんじょう助け合いサービス）

・在宅の高齢者世帯や障害者世帯等を対象に、掃除や買い物等の家事全般、外出介助等の支援を有償で提供する住民参加型の家事援助サービスを推進した。

内容	令和６年度	前年度	前年比（%）
利用会員数 （延べ利用人数）	１３１人 （３５７人）	９９人 （３３２人）	１３２．３ （１０７．５）
協力会員数 （延べ活動人数）	５８人 （１９６人）	５０人 （１８１人）	１１６．０ （１０８．３）
訪問回数 （延べ活動時間）	１，２６４回 （１，２８３時間）	１，１５４回 （１，１６９時間）	１０９．５ （１０９．８）

５．地域会食事業（レシピ集配付）

・コロナ禍でもおうち時間を楽しんでもらうために、本庄市食生活改善推進員協議会監修の「レシピ集」を、在宅で生活する高齢者世帯等のみなさまに民生委員・児童委員を通じて配付した。

内容	令和６年度	前年度	前年比（%）
対象者数	９８８人	９３８人	１０５．３
実施回数	４回	４回	１００．０

■障害児（者）福祉事業

１．福祉車両・車いす貸出事業

・障害のある方等を対象に、福祉車両や車いすを貸し出すことにより、外出の支援を行い、社会生活の利便性向上と生活圏域の拡大を図った。

内容	令和６年度	前年度	前年比（%）
福祉車両	１７０件	１７０件	１００．０
車いす	１５１件	１１６件	１３０．２

２．児玉郡市手話通訳者派遣事業（受託事業）

・聴覚障害者とその他の者の意思疎通を仲介する手話通訳者を派遣し、意思疎通の円滑化に努め、聴覚障害者の福祉の増進と社会参加の促進を図った。

内容	令和６年度	前年度	前年比（%）
派遣件数	９９２件	１，０３６件	９５．８
来所者数	３３７人	３７４人	９０．１
テレビ電話利用件数	２０５件	９５件	２１５．８

3．「障がい者作品展」の開催（参加団体・施設数：１９団体／前年比９５．０％）

・障害のある方の文化・創作活動を支援するために「障がい者作品展」を「ふれ愛祭」会場で開催し、障害のある方々が制作した絵画や手芸品などを展示紹介した。また、ホームページ・Facebook・X（旧Twitter）で周知した。作品展終了後、出展作品を掲載した障がい者作品カレンダーを作成し、参加団体・施設や公共施設等へ配付した。

■児童福祉事業

1．ファミリー・サポート・センター事業（受託事業）

・子育ての手助けを必要とする方と、子育ての援助ができる方を結び、保育施設や習い事等への送迎を中心に、一時的な育児援助活動を有料で行う会員組織活動を推進した。また、普通救命講習会を開催して援助会員３人が参加し、一般参加が２人だった。

内容	令和６年度	前年度	前年比（%）
援助件数	１，００３件	１，１１６件	８９．９
会員数（全体）	１４５人	１５０人	９６．７
① 依頼会員	１０８人	１１３人	９５．６
② 援助会員	３１人	３０人	１０３．３
③ 両方会員	６人	７人	８５．７

2．赤い羽根共同募金配分金事業

・未来を担う子どもたちの健やかな成長を地域で支えるため、赤い羽根共同募金を活用し、市内小学校の令和６年度新入学児童に対し、学用品（糊）の配付を行った。

内容	令和６年度	前年度	前年比（%）
対象児童数	５５０人	６１４人	８９．６

・予期できない災害や事故、親の離婚や病気、また不適切な養育を受けているなど、さまざまな事情により家族による養育が困難な児童養護施設の子どもたちに、協調性や思いやりの心を育むことを目的に、クリスマスケーキを配布した。

内容	令和６年度	前年度	前年比（%）
対象児童・生徒数	３０人	－	－
配布個数	１０個	－	－

3．こども・子育て支援事業

（1）フードパントリー事業（生活応援便事業）

・市民、企業等へ呼びかけ、配付する食品の寄附を募り（フードドライブ事業）、「食」にお困りの子育て世帯へ無償で食品を配付するフードパントリー事業（生活応援便事業）を実施した。

内容	令和６年度	前年度	前年比（%）
協力企業・団体	１４件	２４件	５８．３
協力個人	１０人	６３人	１５．９
配付世帯	２０９世帯	５３９世帯	３８．８
配付セット数	６７０人分	１，９２９人分	３４．７

（２）クリスマスケーキ配付事業

・市内のケーキ店が作った４号サイズのクリスマスケーキを、「食」にお困りの対象となる子育て世帯（１８歳以下の子がいる世帯）の合計３２７世帯へ３２７個を配付した。

（３）学用品贈呈事業

・「ほんじょうこども未来応援金」を活用し、未来を担うこどもたちの健やかな成長を地域全体で支援するため、市内の全小・中学校等の児童・生徒約５，４００人へ学用品（消しゴム２個セット）合計１１，６００個を贈呈した。

（４）衛生用品の配布

・さまざまなご事情で衛生用品を買えずにお困りの市民を支援するため、衛生用品を配布した。

内容	令和６年度	前年度	前年比（%）
配布個数	１０，３１１個	１０，１７０個	１０１．４

■ボランティア活動事業

１．ボランティア養成講座等

・手話奉仕員養成講座入門課程（１９人）、ボランティア活動のためのカウンセリング講座（１７人）、福祉教育ボランティア養成講座（８人）、ふくしフェスタ（２２人）を開催した。

内容	令和６年度	前年度	前年比（%）
講座数	４講座	３講座	１３３．３
参加者数	６６人	７２人	９１．７

２．夏のボランティア体験プログラム

・学生の夏休み期間、中学生から社会人までを対象に、保育施設、障害者施設等でボランティア体験をするプログラム事業等を開催し、福祉体験活動に取り組んだ。

内容	令和６年度	前年度	前年比（%）
施設ボランティア	１２２人	３３人	３６９．７
ボランティア協力企画	１１５人	１２６人	９１．３
地域の支え合い活動等	３３人	－	－
その他	－	２３人	－
合　計	２７０人	１８２人	１４８．４

３．福祉教育推進事業（「総合的な学習の時間」の支援活動等）

・小中学校における福祉教育の推進や学校と地域との協働による福祉体験の機会創出等を目的に、「総合的な学習の時間」の支援活動や、支援に携わる福祉ボランティアの育成等に努めた。

内容	令和６年度	前年度	前年比（%）
小中学校（１１校）	１９回	２３回	８２．６
学校以外	５回	３回	１６６．７
参加ボランティア数（延べ）	１０２人	１０２人	１００．０

４．ボランティア啓発促進事業

・ボランティア情報紙の発行を通じて、子どもから大人まで、ボランティア意識の醸成に努めた（隔月年６回発行）。

５．ボランティアセンター運営事業・災害支援ボランティア関連事業

・災害ボランティアの募集・登録を行うとともに、他市町社協等が開催する研修や訓練に参加し、職員を対象とした災害ボランティアセンター運営訓練を実施した。

内容	令和６年度	前年度	前年比（%）
登録ボランティア数 （うち災害ボランティア数）	７３人 （２７人）	７２人 （２６人）	１０１．４ （１０３．８）
登録団体数 （うち災害ボランティア団体数）	７６団体 （１５団体）	７６団体 （１５団体）	１００．０ （１００．０）
災害研修等参加回数	３回	７回	４２．９

■相談事業

１．心配ごと相談事業（受託事業）

・市民の心配ごとについて相談に応じ、問題解決を容易にするため各種社会資源を活用しながら生活相談を中心に住民福祉の向上に努めた。

内容	令和６年度	前年度	前年比（%）
利用者数	１４人	４９人	２８．６
相談件数	１５件	５７件	２６．３

２．結婚相談事業（ＳＡＩＴＡＭＡ出会いサポートセンター）

・結婚を誠実に希望する独身男女に出会いの機会を提供する結婚支援センター（ＳＡＩＴＡＭＡ出会いサポートセンター本庄）を開設し、入会受付や相談に応じた。また、婚活パーティー等のイベントを開催し、結婚に対する機運の醸成を図った。

内容	令和６年度	前年度	前年比（%）
登録者数（県） （うち本庄市）	２２，５３６人 （３６５人）	１９，２１６人 （３２８人）	１１７．３ （１１１．３）
市在住成婚者数	２人	２人	１００．０
来所者数（男性）	８０人	１１２人	７１．４
来所者数（女性）	３３人	５７人	５７．９
婚活パーティー実施数	９回	６回	１５０．０
婚活パーティー参加者数	１８３人	２３８人	７６．９
カップリング数	４９組	６７組	７３．１
婚活イベント実施数	４回	３回	１３３．３
婚活イベント参加者数	１０８人	９１人	１１８．７

■生活福祉事業・権利擁護事業

１．生活福祉資金等貸付事業

・福祉資金や生活福祉資金の貸付を行った。

内容	令和６年度	前年度	前年比（%）
福祉資金件数	３３件	２４件	１３７．５
貸付額	９５５，０００円	７２０，０００円	１３２．６
生活福祉資金件数	１９件	１５件	１２６．７
貸付額	３，１５３，０００円	４，６３７，０００円	６８．０
＜生活福祉資金内訳＞	【福祉費】７件／１，１２２，０００円 【教育支援資金】３件／１，３５４，０００円 【緊急小口資金】９件／６７７，０００円		

２．生活困窮者支援事業

（１）各種支援事業の実施

・生活困窮者自立相談支援窓口（受託事業）を開設して、生活に不安を抱える方や経済的に困窮している方(生活保護受給者を除く)からの相談に対応し、関係機関と連携しながら必要な支援を行った。また、彩の国あんしんセーフティネット事業、フードバンク事業、及び歳末たすけあい事業により、生活に困窮している世帯等への支援を行った。

内容	令和６年度	前年度	前年比（%）
自立相談支援事業（新規件数）	４８５件	３８３件	１２６．６
セーフティネット事業（新規件数）	３５件	２２件	１５９．１
フードバンク事業（延べ件数）	６９６件	３２４件	２１４．８
歳末たすけあい事業（世帯数）	１２７世帯	１３０世帯	９７．７

（２）衛生用品の配布（再掲）

・さまざまなご事情で衛生用品を買えずにお困りの市民を支援するため、衛生用品を配布した。

内容	令和６年度	前年度	前年比（%）
配布個数	１０，３１１個	１０，１７０個	１０１．４

３．権利擁護事業

（１）福祉サービス利用援助事業（受託事業）・法人成年後見事業

・福祉サービス利用援助事業（あんしんサポートねっと）及び法人成年後見事業を行い、判断能力に課題を抱えた方への支援並びに被後見人等の財産管理と身上保護を行った。

内容	令和６年度	前年度	前年比（%）
あんサポ利用者数	１９人	１９人	１００．０
あんサポ生活支援員数	１３人	１３人	１００．０
延べ訪問回数	２７０件	２５９件	１０４．２
法人後見受任件数	３件	３件	１００．０

（２）成年後見サポートセンター事業（受託事業）

・成年後見相談、講演会、成年後見制度研修会等を行った。

内容	令和６年度	前年度	前年比（%）
成年後見相談（一般）	３９件	２８件	１３９．３
成年後見相談（専門）	１６件	１２件	１３３．３
講演会参加者数（配信含む）	１０４人	１０８人	９６．３
市民後見人養成研修（フォローアップ研修）	１８人	－	－

■地域包括支援センター事業（受託事業）

１．包括的支援業務

（１）総合相談

・高齢者に関する様々な相談に応じ、必要な制度やサービスの紹介や調整などを行った。また「西包括だより」を発行し、相談窓口の周知や情報提供を行った。

内容	令和６年度	前年度	前年比（%）
相談件数（延べ）	７２４件	６９６件	１０４．０
訪問回数（延べ）	２２９件	２１９件	１０４．６
包括だより発行	１２回	１２回	１００．０

（２）権利擁護

・成年後見制度や日常生活自立支援事業等の紹介や情報提供等、高齢者虐待や消費者被害の相談に応じ、必要な対応を行った。

内容	令和６年度	前年度	前年比（%）
高齢者虐待対応件数（延べ）	１０件	２７件	３７．０
相談者数	１０人	１５人	６６．７

（３）包括的・継続的ケアマネジメント

・高齢者への包括的、継続的なケアを実施するに関係機関の連携を構築し、地域の介護支援専門員への支援を行った。また、本庄地域ケアマネ会議６回・本庄西ケアサポート連絡会を３回開催した。

内容	令和６年度	前年度	前年比（%）
包括的・継続的ケアマネジメント会議	7回	9回	７７．８
介護支援専門員への相談支援	２５件	１７件	１４７．１

（４）認知症総合支援事業

・認知症高齢者や家族等の支援を行うため、地域における認知症の理解を促進し、認知症の方や家族、地域住民、専門職等の関係者同士の連携を図った。オレンジカフェ（認知症カフェ）・認知症個別相談会は、２会場（１８回）で開催した。

・認知症普及啓発イベント（オレンジウイーク in ほんじょう）に協力した。

内容	令和６年度	前年度	前年比（%）
オレンジカフェ参加者数	３４４人	２６２人	１３１．３
認知症個別相談会開催	１８回	１２回	１５０．０
認知症家族の会開催	１１回	１１回	１００．０
認知症サポーター養成講座開催	５回	７回	７１．４
認知症ケア向上事業検討会議参加	１３回	１３回	１００．０

２．多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築

・地域包括支援ネットワークの構築のため地域ケア個別会議を開催し、介護・医療・保健福祉サービスやインフォーマルサービスなど様々な社会資源との連携を図った。

内容	令和６年度	前年度	前年比（%）
地域ケア個別会議開催	７回	６回	１１６．７
取扱事例数	１３事例	１２事例	１０８．３

３．介護予防支援・介護予防ケアマネジメント、その他

・指定介護予防支援事業者として、要支援１・２、及び事業対象者の方に対し、介護予防支援と介護予防ケアマネジメントを行った。また、在宅介護を行っている方等を対象として、介護に関する研修（介護者教室）を４回開催した。

内容	令和６年度	前年度	前年比（%）
介護予防支援（延べ）	６１０件	６６６件	９１．６
介護予防ケアマネジメント（延べ）	５４４件	４９９件	１０９．０
介護者教室参加人数（延べ）	１９人	６９人	２７．５

■生活支援体制整備事業（受託事業）

１．第１層生活支援体制整備事業

・生活支援コーディネーター業務として、第１層協議体の運営（全体会２回開催）や第２層協議体の支援等を行い、生活支援体制の整備に取り組んだ。移動支援をテーマに、タクシーを活用した乗り合いによる送迎支援や、市内４圏域の地域ケア個別会議への参加や、社会福祉法人及びボランティア団体による移動支援等を行った。また、老若男女を問わず誰でも気軽に参加できる地域交流の場として、定期的にラジオ体操を行う場づくりの支援を行った。

内容	令和６年度	前年度	前年比（%）
サポーター養成講座参加人数	１８人	１５人	１２０．０
サポータースキルアップ講座参加人数	２５人	４０人	６２．５
ラジオ体操普及促進事業設置箇所	１３箇所	１０箇所	１３０．０
県プラチナ・サポート・ショップ登録	１６３店舗	１３８店舗	１１８．１

※プラチナ・サポート・ショップ登録実績は、総店舗数。

２．第２層生活支援体制整備事業

・生活支援・介護予防サービスの開発や発掘のための取り組みとして、第２層（本庄西地域）生活支援体制整備協議体の活動を行った。

・住民主体サービス（まごころさぽーと）の運営支援等を行った。

・埼玉県プラチナ・サポート・ショップの周知、登録についての説明のため本庄西地域の店舗を訪問した。
・ラジオ体操普及促進事業の周知活動を行い、実施団体の立ち上げ支援を行った。

内容	令和６年度	前年度	前年比（%）
本庄西地域協議体会議	４回	４回	１００．０
県プラチナ・サポート・ショップ登録	２店舗	３店舗	６６．７

※プラチナ・サポート・ショップ登録実績は、第２層で支援を行い登録となった店舗数（年間）。

■日本赤十字社事業

１．赤十字会員募集活動【募集期間：５月～９月】
・『日本赤十字社会員募集運動』を実施し、自治会連合会、民生委員・児童委員協議会、法人等にご協力いただき次の実績を得ることができた。

内容	令和６年度	前年度	前年比（%）
一般会員	４，１０４，４００円	４，１１５，５００円	９９．７
特別会員	４９９，５００円	５３４，４００円	９３．５

２．災害被災世帯支援活動
・火災に遭われた世帯へ、物資（布団・毛布・日用品）及び見舞金等を提供した。

内容	令和６年度	前年度	前年比（%）
救援物資提供世帯数	１世帯	４世帯	２５．０
見舞金等提供世帯数	１世帯	７世帯	１４．３
見舞金等金額	１０，０００円	７５，０００円	１３．３

３．赤十字地域支援活動
・自治会（宮本町・宮戸・河内）への災害救護用天幕（小）の配備や、赤十字奉仕団活動の支援を行った。

４．その他赤十字支援活動
・国内災害義援金・海外救援金の募集を行い、日本赤十字社埼玉県支部を通じて被災地の配分委員会もしくは被災国の赤十字社等へ全額送金した。

義援金名（国内）	令和６年度	累計額（令和６年度末現在）
令和６年能登半島地震災害義援金	１，０１０，２１１円	８，９９５，８６６円
令和６年９月能登半島大雨災害義援金ほか３件	２，６２８，２７７円	同左

救援金名（海外）	令和６年度	累計額（令和６年度末現在）
ウクライナ人道危機救援金	３，５２４円	４９１，４２５円
２０２４年台湾東部沖地震救援金ほか５件	９８４，９６５円	同左